青森FHCニュース455号　2026年10月31日

青森FHCニュース

発行　青森FHC 会長 櫻田 正行
編集委員 大石忠秀・櫻田正行

10月例会報告 「 ぼんてん山 468m 」　青森県六ケ所村　担当：葛西 直子

期日：　2026年 10月25日（日）
参加：　櫻田、福田、及川、杉山、大石、会津、佐藤、白戸、葛西、磯谷、山下、浜田、齋藤（記録）

朝7時、あいにくの小雨の中合浦公園を出発。

今回は参加者が13名なので、レンタカーと自家用車の乗り合わせで移動する。

8時30分、ぼんてん山登山口駐車場に到着。装備を終え9時に出発する。

登山口の前に広がる、放牧場の大草原を歩き樹林帯の中に入る。

きれいに仮払いされた登山道には、所どころにクマよけの一斗缶や、六ケ所村山岳会と書かれた案内板が設置され、地元の皆様の心遣いが感じられる。

雨は止むも無風なうえ湿度が高いので汗だくとなり、1枚脱ぎ2枚脱ぎ半袖になる人も。



ぼんてん山登山口で記念撮影

途中にブナの巨木があり推定年齢400年以上、幹回り4m以上という、ぼんてん山のシンボルがみられた。

６合目あたりから急坂となり、頂上まで続く急登に疲労困憊するも11時山頂到着。

周囲は真っ白で眺望は叶わず…と思いきや、時間の経過と共に雲が上がり、太平洋や原燃リサイクルセンター、石油備蓄基地が姿を現す。天気が良ければ、岩手の早池峰山や北海道も望めるらしい。

頂上では蚊やブヨの大群にまとわりつかれ、昼食どころではなく11時30分に下山開始する。

上るときはクマよけのベルをガンガン鳴らしたけれど、下山時は鳴らす人もなく静かだったのは疲労のせいか．．．？

大草原に立ち眼前の山並みを仰ぎ、皆で今日上った山はどれかなあれかなと振り返り、ぼんてん山という名のほっこりとした優しい響きに癒されるも、低山とはいえ侮れない山だと痛感する。

13時、近くの温泉で昼食と入浴を済ませた後、しばしまったりと休息をとり16時10分、合浦公園到着、解散。

往復運転してくださった櫻田さん、及川さんありがとうございました。そしてお疲れさまでした。　　レポート by 齋藤 順子



病み上がりの2人がようやく到着

皆さんにご迷惑をおかけしました。会長の励ましで何とか頂上到着！大石、会津



頂上では時間の経過と共に雲が上がりまずまずの眺望！



頂上では蚊やブヨの大群にまとわりつかれ、昼食どころではなく早々に下山開始





ブナの巨木、推定年齢400年以上、幹回り4m以上という、ぼんてん山のシンボル



合浦公園駐車場で、石井さんから自家栽培の立派な大根を皆で頂いた。有難うございます！

今晩はおでんだ！

11月例会案内「 平庭岳 1,060m 」　岩手県　担当：福田　英雄

１．日　時　：令和８年11月21日（土）6時～

２．集　合　：合浦公園駐車場

３．移　動　：レンタカー

４．会　費　：5,000円

５．申　込　：11月14日（土）17時まで

６．締切　　：白戸さんへ、グループライン又は電話で

17時までにお願いします。

７．その他　：帰り温泉入浴します



平庭岳は、岩手県の美しい自然に囲まれた登山スポットで、初心者から健脚者まで楽しめる魅力的なコースです。標高1,060メートルの山頂は、特に冬季の雪景色が素晴らしく、サラサラのパウダースノーを楽しむことができます。登山道は整備されており、アクセスも良好ですが、雪の状態によってはスノーシューが必要な場合もあります。